

令和3年度 産業技術センターの利用に関するアンケート調査結果
産業技術センター利用企業の目的達成度は98.3%

群馬県立産業技術センターでは、令和2年度の依頼試験及び機器開放利用者（749者）に対して、令和3年7月～8月にかけて、FAXによりアンケート調査を実施しました（回答数300者、回答率40.1%）。

その結果、**利用企業のうち目的を達成できた企業の割合は98.3%**でした。ほぼ全ての利用企業にメリットがあったと考えられます。

また、**今後も産業技術センターを利用したいと考えている企業の割合は100%**でした。

産業技術センターでは、お寄せいただいた貴重な意見・要望等を踏まえ、今後もサービス向上に取り組んでまいります。

○調査結果

(1) 利用企業の目的達成度・今後の利用について

- 目的達成度は「十分達成できた」（64.3%）と「ある程度達成できた」（34.0%）を合わせると**98.3%**であった。

十分達成できた	64.3%
ある程度達成できた	34.0%
達成できなかった	1.7%

- 今後も「積極的に利用したい」（42.0%）と「必要のあるときに利用したい」（58.0%）を合わせると**100%**であった。

積極的に利用したい	42.0%
必要のあるときに利用したい	58.0%
利用したくない	0.0%

(2) 今後、強化・充実してほしいテーマ分野・機器整備について

①テーマ分野

機能性材料 34.9%、環境・エネルギー 20.3%、次世代自動車14.6%、IoT・AI・DX 12.3%の順に多かった。

②機器整備

材料分析・試験 32.6%、機械計測・非破壊試験 21.3%、環境試験 20.8%、電子・電気機械 11.8%の順に多かった。

(3) 利用企業の業種・企業規模について

- 利用企業の業種は、「金属製品」、「機械」、「プラスチック」の順に多かった。
- 利用企業の規模は、「中小企業」が88.6%、「大企業」が11.4%であった。

(4) その他、産業技術センターの取り組み姿勢等に対する意見・要望等について(自由記載)

- 試験結果に対する技術者としての所見等を求める意見があった。
- 機器開放の要望や支払い方法に関する意見も複数見られた。